

日本共産党

天王台後援会 ニュース

〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉 〈部内資料〉

住所 270-1138 我孫子市下ヶ戸 1825-19-103 電話 7184-2670, 発行責任者 中村良雄

**日本維新の会・馬場代表が
「日本共産党は日本からなくなったらいい政党」と暴言し、
「第1自民党と第2自民党の改革合戦が政治をよくする」と発言。**

(7月23日ネット番組)

各界から批判が出されています。 —しんぶん赤旗7月28日より抜粋—

民主主義を否定する非常にひどい発言で、議会制民主主義は相手の存在を否定したらなりたちません。全体主義の発想で、戦前を想起させます。「第2自民党でいい」発言は、大阪の実態を見ても「確かにそうだよな」と思われます。

京都精華大准教授 白井 聡さん

憲法、立憲主義、民主主義に対する攻撃です。この発言は、共産党にだけ向けられたものではありません。かつてのナチスドイツでも共産党への攻撃の後に、宗教者などあらゆる人々が攻撃されました。

総がかり行動実行委共同代表 高田 健さん

共産党が実際弾圧された政治史知っていれば、ファシスト的で本当に許しがたい暴言です。

馬場代表は自分たちの地位を確立させたと自信を深めたことの出ででもあります。

第1自民党と第2自民党だけの翼賛体制という流れが生じているのが現状です。野党共闘の重要性は高まっています。

上智大教授市民連合運営委員 中野 晃一さん

共産党の小池晃書記局長は24日の記者会見で、日本維新の会の馬場伸幸代表が共産党に関し「日本からなくなったらいい政党だ」と発言したことに反発して

「看過できず、断じて許すわけにはいきません。撤回を求める」と述べました。



市民アンケートがまとまりました

800余通の回答から生活が苦しくなった人が圧倒的でした。

天王台地域で88名の方からご意見をいただきました。市政に対するものは、市議団を通じて順次解決を図っていきたいと思います。

また、我孫子市全体のアンケート結果については、8月発行の「あびこ民報」をご覧ください。

天王台支部として、「東我孫子駅のバリアフリー化」について、署名を集める計画をしています。署名を持って、JRと我孫子市へ皆様の声を届けようと計画しています。誰でも安心して暮らせる街にするために皆さんの声を実現していきたいと考えています。ご協力をお願いします。



変ですね! こんな事ってどう思いますか?

世論はマスメディアが形成してるんですって?
国民は知らず、知らずに政治に無関心、政治を考えない、生活・暮らしを政治に結びつけないようになった。

日本の国民世論(オピニオン)の形成は主にマスコミ(マスメディア)だと言われています。主なメディアは新聞を始めテレビ、週刊誌などがあり、これも大手中央紙、地方紙など、また、テレビでは大手中央テレビ局、地方局などがあり、週刊誌は大手雑誌系列誌があります。新聞社系列の週刊誌は、最近は販売不振で廃刊しているところもあります。

マスコミは全てが経営の論理でだけで働いていると言っても過言ではありません。ほんの一部に微かに儲け本位だけに偏った内容になっていない場合もあります。しかし、新聞の発行やテレビの放映は大企業や中小企業などの広告収入で賄われていて、講読料収入はわずかです。

マスメディアは偽りのオピニオンを作るのか

マスコミも行政の言いなりなのです。それによって形成される世論(オピニオン)は知れたものでしょう。ほんの少しの良心的番組も多くの主婦や若者には届きません。絶対的多数の主婦や若者は今やスマホで偏ったニュースかテレビではワイドショー、バラエティ番組、旅番組、レストラン・食番組そして今やスポーツ番組で大谷翔平さんのホープラン、野球・サッカーです。

日本にとって重要な問題(沖縄問題、敵危機攻撃能力の保有、マイナンバー問題、核抑止

アメリカでもマスコミは企業の商品なのです。売れることが第一で、テレビでは視聴率が決め手となっています。

マスコミを代表するのはテレビです。大手新聞は大手中央テレビ局を傘下にし、系列化しています。つまり系列のテレビ局に不都合な内容やニュースは新聞には掲載しません。

テレビはご承知のように総務省の管轄下です。最近はとみにテレビ電波取得で睨まれるような放映はしません。官邸、行政監視強化が強まっているのです。NHK でわかる通り、良心的な内容の番組は政府の強力なチェックが必ず入ります。テレビ局は時の政府・行政の言いなりで、睨まれない内容だけ放映します。

論など)が一般社会では記事では希釈され、薄められて本質を歪めて報道されます。

多くの国民は無関心、政治不信におかれま

す。これは政府・官邸が意図的にマスコミを操作していることにほかなりません。大手マスメディアの経営者は重要な政治課題が問題化すると必ず政府・与党幹部、官邸・行政と会食して情報交換と称して付度して世論形成に加担します。

7月の内閣支持率が各社世論で最低水準に

マイナンバーをめぐる相次ぐトラブルの中各社で世論調査をしています。政府よりと自他ともに認めている「読売」・日本テレビの7月21~23日調査では岸田内閣の支持率は発足以来の最低となっていて35%、不支持率が何と52%、国民の不信が広がっています。

でもしかしなぜでしょう? 23日に実施された群馬知事選挙では岸田内閣の与党自公推薦の候補が絶対得票率が23.47%なのに当選しました。

100人の県民の内23人しか投票しないのに当選する。おかしいですね。知事選や衆議院の小選挙区は1人しか当選しません。

日本全体で見れば小選挙区の害悪は明白で得票が4割台で議席が8割もとる。それでなんでも国会で悪法が通る。

おかしいですね!

変えるのは野党共闘しかない。

(天王台 中村良雄)

シリーズ1 紙の「健康保険証」をなくさないで!

「マイナ保険証強要」を許さぬたたかいは、これから!

来年秋に健康保険証を廃止して、マイナンバーカードに置き換える「改定マイナンバー法」。国会を通った後、連日のように報道されるトラブルに、大きな不安が広がっています。国会終盤6月には、「保険証廃止、見直しは今からでも遅くない」(読売)

「マイナ保険証、一本化許されぬ」(朝日)「混乱続くマイナカード、拙速廃し立ち止まる時だ」(毎日)など、大手各紙の社説が取り上げましたが、政府は、全く聞く耳を持ちません。

国会が終わって2ヶ月、「健康保険証を無くさないでほしい」との声は、岩手県議会が反対決議をするなど大きく広がっています。

ところが我孫子市は、8月1日使用開始の「健康保険証」の郵送に際して、同封のプリントに「マイナンバーカードを健康保険証として是非お使いい

い!」。裏面には、個人情報流失に対する不安に答える形で、「健康・医療情報や税情報・年金情報などプライバシー性の高い情報は入っていません」と。開封して、本当に驚きました。

今や、マイナカードに紐づけられた健康保険証のトラブルが相次いで報道され、「健康保険証は現行のままで!」の声が渦巻いているのに、我孫子市からの発信は納得できません。

具合が悪い時、健康保険証があればいつでもどこでも医療が受けられます。紙の保険証は、目視で本人確認ができ、機能を十分果たしてくれます。私たちの命綱、健康保険証をなくさないでほしい! たかいはこれから。一緒に考えていきましょう!

(青山 田中 なつみ)



「ハザードマップを学習して防災対策を考えましょう」

7月26日 新婦人我孫子支部主催我孫子市出前講座に参加して

ハザードマップを見ていると、手賀沼と利根川に囲まれているので、浸水箇所を示す赤い色が我孫子市の周りを取り囲んでいて、どこへ逃げればいいのかと不安に思っていました。

「避難場所が公園だけど、防災グッズなど何も置いていない」

「避難場所に、何千人も集まったらどうするの?」

「障害のある人や独居老人は、どうなるの、共助ってどうしたらいいか」たくさん不安や疑問があり、参加してみました。

我孫子市の市民安全課の方の説明で、疑問が少しずつわかってきました。

★洪水はいつに起こるのではなく、手賀沼、手賀川、利根川それぞれ増水のテンポが違うため対策がとられている。

★指定緊急避難場所は、地震と洪水とは違う。1時避難場所は、とりあえず、危険でないところへ逃げる。家族や自治会できめておくこと。

★指定避難所は、災害によって家屋の倒壊などで住めなくなった人や、災害の危険性が無くなるまでの施設。宿泊や給食などを提供します。

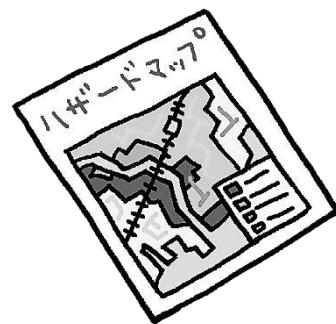
★個人では、我孫子市公式LINEに登録しておく。

★地震では、家の耐震性を診断しておく(昭和56年以前の家)・家具の固定など。

★市は要支援の人の名簿把握。(4,300人)自治会が共助としてやってほしい。

(4割の自治会では、黄色のバンダナなどをドアにかけたりして安全確認をしている。

(天王台 中川美保子)



戦争だけは絶対にやってはいけない！一緒に平和を考えましょう。

9月24日（日） 13:30～15:30

天王台北近隣センター

スピンオフ作品上映 (13:30～14:15)

1. ドキュメンタリー映画「沖縄、再び戦場へ（仮）」（2024年公開予定）

三上智恵監督の最新作ドキュメンタリー映画で、「標的の村」「戦場ぬ止む」「標的の島風カタカ」「沖縄スパイ戦史」などの監督が2024年劇場公開にむけて、新作ドキュメンタリー映画としての「沖縄、再び戦場へ（仮題）」として沖縄の「今」をとらえた映像制作中です。

三上さんは「沖縄の軍事要塞化が加速度的に進んでいる、予断を許さない状況と危機感を皆さんと共有して欲しい」とスピンオフ作品にしました。



2. 2023年 原水爆禁止世界大会報告

我孫子市の参加者 野村 貞夫さん

船橋 まさるさん

第15回 あびこ平和フェスティバル

（講演・映画上映・詩の朗読・展示） 入場無料

8月26日（土）～27日 我孫子市民プラザ・ホール
（あびこショッピングプラザ3階）

26日 11時 開場

13時 朗読「平和と心を見つめて」

13時30分 講演「憲兵だった父の遺言と私」

講師 倉橋 綾子さん

15時 短歌・俳句創作コーナー

17時～18時40分 映画 ムツちゃんの詩（うた）上映

27日 10時 開場 記録映画随時上映と資料展示

13時 減数バク禁止世界大会参加者報告

13時 30分 講演「“台湾有事”と日本、今、新たな戦前か？」

講師 布施 祐仁さん